

2016

# ぼくの夢 わたしの夢

新しい年を迎えて、  
高山小学校6年生の  
皆さんに「将来の夢」を  
語っていただきます

野口英世のように…



田中 陸登

ぼくの将来の夢は、医者になることです。社会で野口英世を勉強しました。英世は細菌学の研究をしていたそうです。人の役に立つということはと

てもすごいなと実感しました。ぼくもたくさん勉強して英世のようなすばらしい人になりたいと思いました。病気やけがをした人たちを治せて、人々の笑顔や感謝されるようなやさしくて、なおかつ医術も身につけたことです。医者になるということとは人の命を預けられているということなので分からないことがないように、今のうちから勉強にがんばって、高校生くらいになったらその道に向かってがんばりたいです。なるべく多くの人の命を救えるようにがんばりたいです。

母のように

私はなりたい

五嶋 和花



私の将来の夢は、看護師になることです。私の母も看護師で、小さい頃から母のようになりたいと思っていました。母のような看護師になって、苦しんでいる

人や、病気と必死にたたかっている人、色々な人を受け入れられるような看護師になりたいです。私は、注射がすごく苦手でいつもがまんをして注射をしています。私の他にも苦手な人がたくさんいると思います。だから、色々な人々がすすんで受けにきてくれて、笑顔で帰ってくれる、そんな看護師を目指しています。そのために、今からでも注射の仕方や、看護師に必要な事、細かい事一つ一つを少しずつ将来のために勉強をしたいと思っています。

ネイリストになつて



関 海音

私の将来の夢は、ネイリストです。私は、3年生のころからネイリストになりたいと思っていました。なりたいと思っただけじゃなく、いとこの結婚式のおよばれ

で、ネイルをしてもらったのがきっかけです。私は細かい作業をしたり、デザインを考えて作ったりすることが好きなので、初めてネイルをしてもらった時は、すごく興味しんしんでみたくてしまいました。私はこれから自分のつめ練習をしたりして、大人になったときには、色々な種類や色を使ったすくききれいなネイルをぬれるようになります。そして、たくさんの人にあげて、喜んでもらいたいです。

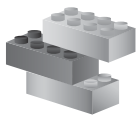
レゴの開発をしたい

黒子 大空



ぼくの夢は、デンマークに本社があるレゴ社に入り開発部で働くことです。ぼくは小さいころからレゴが大好きで今でもやっています。レゴをやっている

ときは、何時間でも集中できて、いろいろな工夫をすることが楽しいです。こういう楽しさを未来の子どもや大人たちにも、あじわってほしいです。なのでぼくがもしレゴ社に入り開発部で働くことができたなら、未来の子どもたちがすくき楽しく時間をわすれられるくらいにレゴをつくり、それと同時に創造力もつけられるようなレゴをつくりたいです。





保育士に  
なりたい

関 悠太

ぼくの夢は、保育士になることです。なぜなら、ぼくが通っていた保育園の男の先生がすごいと思ったからです。小さい子のめんどうや小さな子の気持ちを考えてられる楽しい保育士になりたいです。

ぼくは早口だし口調が強いので、もう少しゆっくりしゃべったり、やさしい口調でしゃかりとしゃべれるようにしていきたいと思います。あと、ぼくはコミュニケーションが苦手なので学校やほかの場所などで、大人の人や小さな子などとコミュニケーションをとる練習をしっかりしていきたいです。もし、自分の将来の夢が叶わなくても、周りの人の役に立つ仕事がしたいです。



たくさんの  
動物を助きたい

山田 怜奈

私の将来の夢は、じゅう医になることです。私は動物を助けて、動物も元気で健康に生きてほしいと思うからです。

道路や道でひかれて死んでしまっている動物を見ると、かわいそうだと思ったり助けてあげたいと思うことがよくあります。今の私は、まだ子どもだからしつかりと動物を助けてあげるといことはできません。でも、今たくさんの動物について学んだり、どういう理由で動物が命を落としているかを調べて、大人になったときに今の気持ちを生かして、たくさんの動物を助けてあげたいし、沢山の動物に幸せになってほしいと思っています。



学校の先生に  
なりたい

松井 瑚雪

私の将来の夢は、学校の先生です。先生になれるまで大変だと思うし、なつてからも大変だと思うけれど、先生っていいなと思います。

私は、分からないところをその子が分かるようになるまで教えることが授業の中で好きなどころです。逆に自分がわからないところを教えるのもらつてその問題が分かるとうつきりします。友達が分かるようにどうすればいいのか考えるのが楽しいし、自分でもこんなやり方があったんだと気づけるときもあります。教師になつて、みんなと一緒にやり方を考えたり、話したり遊んだりしてみたいです。



陸上の選手に  
なりたい

小野 雅裕

ぼくの将来の夢は、陸上の選手になることです。陸上の中でもとくにハードルが得意なので、目標はハードルの選手です。

きつかけは、春と秋にあつた陸上の大会です。ぼくは、大会の総合の結果2位でした。そのときぼくは、陸上のハードルの選手になろうと決めました。でもそれには、今以上に運動をして体力をつける必要があると思ひます。だから、ぼくは中学校の部活は陸上部に入ります。そしてハードルの練習をがんばつて大会などに行つて、入賞したいです。もしもぼくが、郡大会や県大会に行くことがあつたら、力を出しきつてハードルで自己新記録を出したいです。



レスキュー隊に  
なる事

佐々木 湧大

ぼくは、テレビで災害救助の番組を見て、人が人の命を救うのにとても感動しました。自分の事より人の命を大切に思い、天気や場所に関係なく危険な場所でも仕事をしているレスキュー隊の人の顔がとても優しそつでいんしように残りました。

実は、ぼくのお父さんもレスキュー隊に助けられた事があります。命を助けられとても感謝しているつて言つていました。命は、人間にとつて一番大切な物だと思ひます。その一番大切な物を守つていけるレスキュー隊になりたいと思つています。だれでもなれる仕事ではないと思ひけど、一人でも多くの人の笑顔のためにぼくはがんばります。



看護師に  
なりたい

小林 ひより

私の将来の夢は、看護師になる事です。私は小さいころからぜん息で通院してました。病院の看護師さんの笑顔と優しさにいつも安心してしんさつすることができました。私も「ああなりたひな。」と思ひました。

看護師になるためには勉強などが大切だと思ひます。ですがその前に私は人の気持ちに分かる人になりたいと思ひます。病院はみんな不安な気持ちで来ていると思ひます。なので、不安にさせない笑顔と言葉をかけてあげられる人になりたいです。かん者さんの笑顔が少しでも増やせるよう看護師を目指し、一生懸命勉強をして必ず自分の夢を叶えたいです。